

小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 総括表

| | | | |
|------|---------------|-----|-------|
| 法人名 | 有限会社多胡設計 | 代表者 | 多胡 佑毅 |
| 事業所名 | 小規模多機能ホームくわのみ | 管理者 | 稲川 麗美 |

| | |
|---------------|---|
| 法人・事業所の 特徴 | 小規模多機能居宅介護施設の特徴を活かし、利用者一人ひとりに意思及び人格を尊重し、ご利用者の立場に立ったサービスの提供に努めています。在宅を軸とする住み慣れた地域での生活を継続するために、地域住民との交流や地域活動への参加を図り、心身の状況、環境を踏まえて通い・訪問・宿泊サービスを柔軟に提供しています。 |
|---------------|---|

| | |
|-----|-------------------------|
| 出席者 | 市町村職員1名・利用者家族3名・事業所職員2名 |
|-----|-------------------------|

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|---------------|---|--|--|---|
| A. 自己評価の確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・経験年数や、常勤、非常勤により同じ取り組みでも評価の差が出ている。職員が共通の認識を持ち取り組めるよう努力する。 ・日々のミーティングや管理者・ケアマネへの報告の中で対応方法など意識づけを行う。 ・本人や家族の意向や希望をしっかりと把握し細やかな対応が求められていることを認識し対応に臨む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時までに情報を細かく書面にする事で全職員が支援内容の理解を深めることが出来るようになった。 ・訪問や送迎などご家族様から頂いたご意見等を書面やミーティングなどで共有する事で、共通した対応が行えて意識が統一出来るようになった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価に差がある項目があるがどうしてか？ ※入職1年未満の職員の回答では事業所の考え方などまだ理解不足の点もあり低い回答になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の重要性を理解して、定期的に全スタッフで振り返り、勤続年数に関係なく意識統一が出来るように、情報の共有に努めます。 ・利用者様だけでなく、家族様にも寄り添い支援を行っていきます。 |
| B. 利用者・家族に対して | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人のライフケアサポートプランをしっかりと把握し実践した内容結果を記録出来るようにする。また記録したものを職員間で共有し振り返りながら利用者の自己実現へ繋げていく。 ・記録の書き方を具体的にどう書いたら情報を共有できるか検討し勉強会を実施する。 ・地域資源の把握は必要と感ずるので、今後も勉強会を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・通いや訪問時、出来る限り今までの暮らしの流れやこだわりを変更することなく支援できている。 ・地域資源に関しては知識不足もあり、様々な方に活用出来ているか不安になる。 ・申し送りやミーティング等で情報を話し合っているが、認識が違う事がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・記録の書き方について統一するにはひな形を作り指導したらよいのではないかと。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者一人一人のライフケアサポートプランをしっかりと把握し実践した内容結果を記録出来るようにする。また記録したものを職員間で共有し振り返りながら利用者の自己実現へ繋げていく。 ・記録の書き方を工夫し誰もが把握できる書き方を実践する。 ・地域資源把握のため、今後も勉強会を行う。 |

| | | | | |
|---------------------------|---|---|--|--|
| <p>C. 事業所について</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・個人情報、プライバシーに対して職員の個人的見解による発言や行動は控え事業所の考え方を理解し常に事業所を代表する者であると考え行動する。 ・今後も多くの職員が研修に参加出来るよう調整し職員の質の向上に努める。 | <ul style="list-style-type: none"> ・頂いた研修案内を業務の一環として参加出来るようにした結果、非常勤職員も市の研修に参加出来ている。 ・プライバシーの保護について理解しているが無意識のうちに配慮に欠けている場面が見られる。 | <p>特になし</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き個人情報、プライバシーに対して勉強会を重ねて、職員の個人的見解による発言や行動は控え事業所の考え方を理解し常に事業所を代表する者であると考え行動する。 ・今後も職員が研修に参加出来るよう調整し職員の質の向上に努める。 |
| <p>D. 地域とのかかわりについて</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域に出向いて行く機会を多く持つよう努力する。 ・地域のボランティア活動などに参加出来るよう検討する。 ・「認知症相談窓口」として今後も地域の方々の相談をお受けする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の夏祭りや文化祭、公民館で開催される菊花祭など地域に出向く機会を多く持つことが出来た。 ・自治会のゴミ拾いなど参加させて頂いている。 | <p>特になし</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き地域の行事に参加出来るように努めます。 ・ご利用者様のお住まいの行事や催し物を把握し、必要な支援を行います。 ・暮らしや介護の相談窓口として地域の方を支えられるように努めます。 |
| <p>E. 運営推進会議について</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は運営推進委員と同席し発言も出来る形式にし事業所のあり方について意識を高める。 ・推進会議の中で介護の不安や困りごとなど気軽に話せる機会を設ける。 | <p>運営推進会議では参加者全員にご意見を頂くようにしている。頂いたご意見を参考に、避難訓練などの内容も検討が出来た。会議の中で出された疑問点などはその都度お答えしご理解を求めてきた。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日開催なので、参加してみたいとは思いますが仕事だと参加が難しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を活かして、地域に開かれた施設作りに努めます。 ・今後も頂いたご意見を、事業所全体で把握し周知出来るように努めます。 |
| <p>F. 事業所の防災・災害対策について</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・今までの東横野公民館だけでなく地元の久保地区の公民館の受け入れのお願いを検討する。 ・平成29年度は実施月を検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・消防署職員立ち合いによる避難訓練で、避難経路の安全面の再確認を行う事が出来た。 ・自主訓練年4回実施。内1回は消防署職員立ち合いによる指導を受けている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所への移動手段など詳細を明確にしておくが良い。 ・夜間火災が起こった場合に、一人で対応が難しいのではないかと。近所に聞こえる大声を出す事も必要になる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も施設だけでなく、近隣の協力が得られる様に働きかけを継続していきます。 ・参加は難しい事もありますが、地域の防災訓練にも参加できるように努めます。 |